

戸田市議会議員 3期目

酒井いくろう

無所属

埼玉県戸田市議会
戸田の会



【略歴】 ■東京大学医学部卒・大学院修了（医療政策） ■マッキンゼー勤務（経営コンサルタント） ■(株)ポピンス勤務（保育、幼児・学童教育） ■医学教育事業
■平成 21 年より、戸田市議会議員（3 期目）、会派「戸田の会」代表 【家族】 妻、子 3 人（娘 8 才・6 才、息子 4 才）※初選挙より選挙カーを使わず政策本位で活動中

行政の効率化と未来への投資

「行政を効率化し、意義の薄い行政事業やバラマキの廃止など、抑えるところは抑える。必要な分野には、時には惜しげもなく投入する」



効率化・ムダ一扫

重要課題へ投資!!

これからの行政の在り方として、「あれもこれも」から「あれかこれか」へ、という言葉があります。右肩上がりの成長が終わり、自治体予算は限られています。メリハリの利いた予算配分を行うことで、地域の活力を生み出していくことが大事です。

コスト削減は、必ずしもサービスの低下を意味しません。



ICTを始めとする技術革新や、民間活用、シェアリングエコノミーなどの考え方に基づく新しい手法を用いることで、コストを大幅に削減しつつも、サービスは向上させるのが当たり前になってきています。一方で、課題も山積んでいます。特に、少子化問題と超高齢社会に対応した街づくりは、国家 100 年の

大計に関わる重要課題であり、妥協のない取り組みが求められます。

行政も社会全体も効率化し、新産業の活力を取り込み、未来に向けて重要課題に投資する。

住民にきちんと説明し、こうした取り組みを 1 つ 1 つ積み重ねる町と、そうでない町では、今後 10 年程度で大きな差がついていくでしょう。私はこうした考えから、コスト削減と住民サービスの両立、また重要課題への妥協の無い取り組みをテーマに設定し、活動を行ってきました。今号ではその一部を報告します。



効率化・ムダ一扫

重要課題へ投資!!

10~20億円のコスト増! 改修計画の見直しを

戸田駅から徒歩 7 分、蕨との市境にほど近い市所有の特別養護老人ホーム「戸田ほほえみの郷」は、築 22 年と大規模な改修が必要な時期となっています。当初、市当局は一般的な工法として、入居者を仮施設に移すことなく改修を行う前提で計画。その費用として **15 億円** をたたき台としていました。

しかし、私は次のような理由からこの「**居ながら改修**」に**反対**してきました。

1. コストの見積もりが甘く、15 億円を大幅に超過する可能性が高い
2. 同規模の建物を新築した場合、コストが 20 億円弱で済む
3. 現在の建物は、外見を重視した特殊な構造であり、機能性が低い(通常より多くの職員配置が必要である上、安全面も不安)
4. 入居者への工事中の負担が大きい

9 月議会、12 月議会の 2 回にわたり議会質問を行い確認をしましたが、12 月議会の質問翌日、修繕工事に**約 30 億円**もの費用がかかることが判明。つまり、

- ・「コストは安く、機能性は良くなる」建替プラン
- ・「コストは高く、機能性は悪いまま」改修プラン



という構図が明快になりました。ところが、コストが想定の 2 倍かかることが判明したにも関わらず、「居ながら改修」は選択肢から外されていません。

このまま「居ながら改修」を行えば数十億円規模の追加コストが発生すると考えられます。

▼各プランの比較。「居ながら改修」に利点は乏しい

	初期コスト	長期コスト	居住性(工事中)	機能性	判定
居ながら改修	○	○	○	○	×
建て替え	●	●	●	●	△
延命工事	●	-	-	-	△

● ← ○ (ヒアリングを元に分析)
優 ← 劣

「居ながら改修」は選択肢から外し、「建て替えプラン」の他、必要な箇所に限定して少額の改修を行う「延命工事プラン」など、**まずは選択肢を出し直すところから再検討すべきであると考えます。**引き続き検証を続けます。



▲市特養「戸田ほほえみの郷」。特殊な構造の建物。業務効率や安全性に課題がある。

「乳がん検診や胃癌対策など医療政策の改善」・「校外プール実施など教育の効率化」は裏面で!

効率化・ムダ一掃

重要課題へ投資!!

市民の命と健康を守れ ～医療政策の改善～

戸田市の医療政策は、がん検診やワクチン接種に改善・強化の余地がある一方、過去には危険性が指摘されていた子宮がんワクチンの助成に踏み切り、ピンクリボンウォークに多額のコストを投入し、効果が疑問視される前立腺がん検診の助成を行うなど、一貫しない部分も見られます。医療政策の決定基準や、市民への情報提供など、政策全体をバランスのとれたものにする事で、より効果的に市民の命と健康を守ることができると考えます。

1. 乳がん検診の見直しを

現在、戸田市の乳がん検診にはマンモグラフィ（X線検査）が使用されています。しかし受診者により、マンモグラフィが有効な場合と、超音波検査が有効な場合があります。つまり、**超音波でしか発見できない癌がある**ということです（写真参照）。

現状の戸田市での乳がん検診

マンモグラフィ

20～40代に多い「高濃度乳腺」の人の癌。見えづらい

「高濃度乳腺」ではない人の癌。問題なく発見できる

併用が有効!!

導入を推奨する検査

超音波

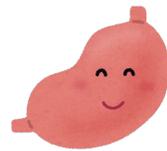
癌が見えやすい

画像提供：品川プレストクリニック

現状では「市のがん検診を受けているのに、ある日突然末期がんが宣告される」悲劇が起こり得ます。**超音波検査の導入と毎年実施（現在は隔年）を推進していきます。**

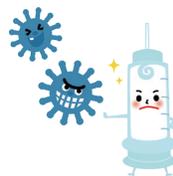
2. 胃癌対策の見直しを

従来からのX線（レントゲン）、内視鏡に加えて、胃癌の主な原因であるピロリ菌検査、また萎縮性胃炎の状況を示すペプシノゲン検査を実施する自治体が増えてきました。高崎市の例では、X線検査と比較し、**①費用は安く、②体への負担は小さく、③胃癌発見率は高く、④受診率は上がる**という結果が出ています。つまり、X線検査よりもあらゆる面で優れているということです。ピロリ菌陽性の胃がんリスクの高い人を特定し、集中的に検診の勧奨を行う方法もあり、活用が待たれます。



3. 中高年への各種ワクチン接種の推進を

带状疱疹は、強い痛みを伴う症状が3～4週間ほど続き、多くの場合神経痛などの後遺症が残ります。50～80歳までに約3人に1人が発症しますが、多くの高齢者がつらい症状に苦しむことが目に見えていながら、一部の自治体を除いてワクチン接種は行われていません。本来、**ワクチン接種は最も費用対効果の良い疾病対策**であり、高齢者にとっては人生を左右しかねない重大な問題です。①医療費抑制、②予防効果の高さ、③高齢者の利益（発症した際のダメージの大きさ）など、いずれの面でも抜群の带状疱疹ワクチンから助成を行い、**すべてのワクチン接種の普及を図るべき**だと思えます。



効率化・ムダ一掃

重要課題へ投資!!

「10億円のコスト削減」と 「教育効果アップ」を両立

1. 校外でプール授業実施を

全国で小中学校プールの廃止が進んでいます。

校内でプール授業を行う代わりに、公共施設や民間スポーツジムのプールを活用し、教育効果とコストの両面で多大なメリットが生まれています。

戸田市は今後、老朽化した小中学校の建て替えが相次ぎ、それに伴うプールの建て替えに莫大な費用がかかることが見込まれます。その一方で、プール授業の回数は少なく、最近では夏休み中のプール授業も廃止になるなど、教育効果（水泳の上達）は上がりづらいのが現状です。

校外プール方式は、市教育委において「戸田市のようなマンモス校には不向き」とされてきました。そこで、マンモス校で郊外プール授業が実施されている例を探し出し、神奈川県海老名市にヒアリングしたところ、コスト面では市内13校で年間7000万円程度の削減効果、その他教職員の負担軽減や安全性の向上、教育効果など、あらゆる面にメリットが及んでいるというお話でした。

長期的には数十億円のコスト削減と教育効果アップを両立しうる政策になり得ます。教育委は9月議会の酒井からの質問に対し、「課題について検討する」という答弁。**今後は運用面（校外プールへの安全な移動や教育効果）、コスト面など、導入に向けた検討を推進していきたいと思えます。**



▲プール授業については全国紙で報じられることも多い。（日経新聞、2019/4/24 朝刊）「海に囲まれた日本で水泳から学べることは多い。授業時間をしっかり確保できる施設のあり方を考えてほしい（新聞記事より抜粋。日本体育大学、白幡教授）」



2. 授業効率アップし学力向上を

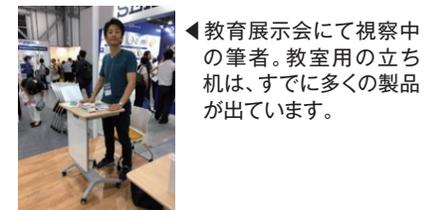
戸田市は教育先進市として全国的に名高く、果敢に取り組む教育委の姿勢はすばらしいものです。そんな戸田市の教育を、さらに改善したいと思えます。

- 小中学生全員へのタブレット配置（すべての授業でICTを使用した効率的な授業を可能に。自宅においても宿題に活用）
- 教室への立ち机導入（授業効率が約10%向上）
- 短時間の昼寝（授業中の集中力向上、寝不足児童の生活リズム調整）
- 幼保小中の朝給食実施（朝からバランスの良い食事を習慣化）
- 米飯給食の増など給食の改善（健康的な和食の習慣化）

社会の変化に伴い、教育ニーズも急速に拡大しています。**財源を確保し、学力向上や健康的な生活習慣づくりなど、子供たちの未来への投資を推進したいと思えます。**



▲全国紙でも紹介（朝日新聞 2019年9月29日）立ち机の導入で、授業への集中が1時間当たり7分も伸びる



◀教育展示会にて視察中の筆者。教室用の立ち机は、すでに多くの製品が出ています。

戸田市議会議員 酒井いくろう

質の高い議員活動のためには、皆様からのご意見が必要です。どのようなことでもぜひご一報下さい。



【TEL/FAX】048-432-9168
【Eメール】ikuro.sakai@gmail.com
sakai-ikuro.com
www.facebook.com/sakaiikuro